



平成27年6月11日

総合政策局公共事業企画調整課

大臣官房公共事業調査室

建設発生土の官民有効利用に向けたマッチングの開始について

天然資源が極めて少ない我が国が持続可能な発展を続けていくためには、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の取組を充実させ、「循環型社会」を構築していくことが必要であり、建設発生土については、

- ①（建設発生土の場外搬出量のうち）内陸受入地搬出64%を工事間利用できていない
- ② 民間の一時ストックヤード等での不適切な取扱いが一部見受けられる

といった課題が明らかになっています。

国土交通省は、平成26年9月に策定した「建設リサイクル推進計画2014」において、建設発生土の更なる有効利用を図るため、官民一体となった発生土の相互有効利用のマッチングを強化するためのシステムを構築し、民間も含めた受発注者に対してシステムへの参画を働きかけることとしています。その後、関係業団体等とともに具体化に向けた検討を行ってまいりましたが、今般、実施体制が整ったことから、取組みを開始することとしました。

これまで国土交通省では、建設発生土の有効利用について、公共工事等間での調整を推進してきましたが、今回の取組を通じて、公共工事等と民間工事の間での調整や、民間工事間の調整についても促進されることを期待しています。

記

1. 実施期間：平成27年6月12日～
2. 協力機関：（一社）日本建設業連合会、（一社）全国建設業協会、各地方建設副産物連絡協議会等
3. 申請先：（一財）日本建設情報総合センター <http://matching.recycle.jacic.or.jp/>
4. 実施要領等：国交省HP http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/recycle/sosei_recycle_tk1_000003.html

○問い合わせ先

国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課 環境・リサイクル企画室

種蔵（内線24523）木下（内線24553）

（代表）03-5253-8111（直通）03-5253-8271

国土交通省 大臣官房 公共事業調査室

鈴木（内線24294）横山（内線24296）

（代表）03-5253-8111（直通）03-5253-8258

建設発生土マッチングのイメージ

【搬出】

土を出したい！



公共建設工事発注者
【搬出工事】

【搬入】

土が欲しい！



公共建設工事発注者
【搬入工事】

【情報交換専用ホームページ】

①搬出・搬入情報の登録

②情報入手

工事間利用を行う地方ごとに、データをダウンロードして活用してください。
 ・最終更新日 2015年6月00日(週1回更新:月曜日に更新)

地方名	搬入工事データ	搬出工事データ
北海道地方(北海道)	ダウンロード	ダウンロード
東北地方(青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県)	ダウンロード	ダウンロード
関東地方(茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県)	ダウンロード	ダウンロード
北陸地方(新潟県、富山県、石川県)	ダウンロード	ダウンロード
中部地方(静岡県、岐阜県、愛知県、三重県)	ダウンロード	ダウンロード
近畿地方(福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県)	ダウンロード	ダウンロード
中国地方(鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県)	ダウンロード	ダウンロード
四国地方(徳島県、香川県、愛媛県、高知県)	ダウンロード	ダウンロード
九州地方(福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県)	ダウンロード	ダウンロード
沖縄地方(沖縄県)	ダウンロード	ダウンロード

土を出したい！



民間建設工事受注者
【搬出工事】

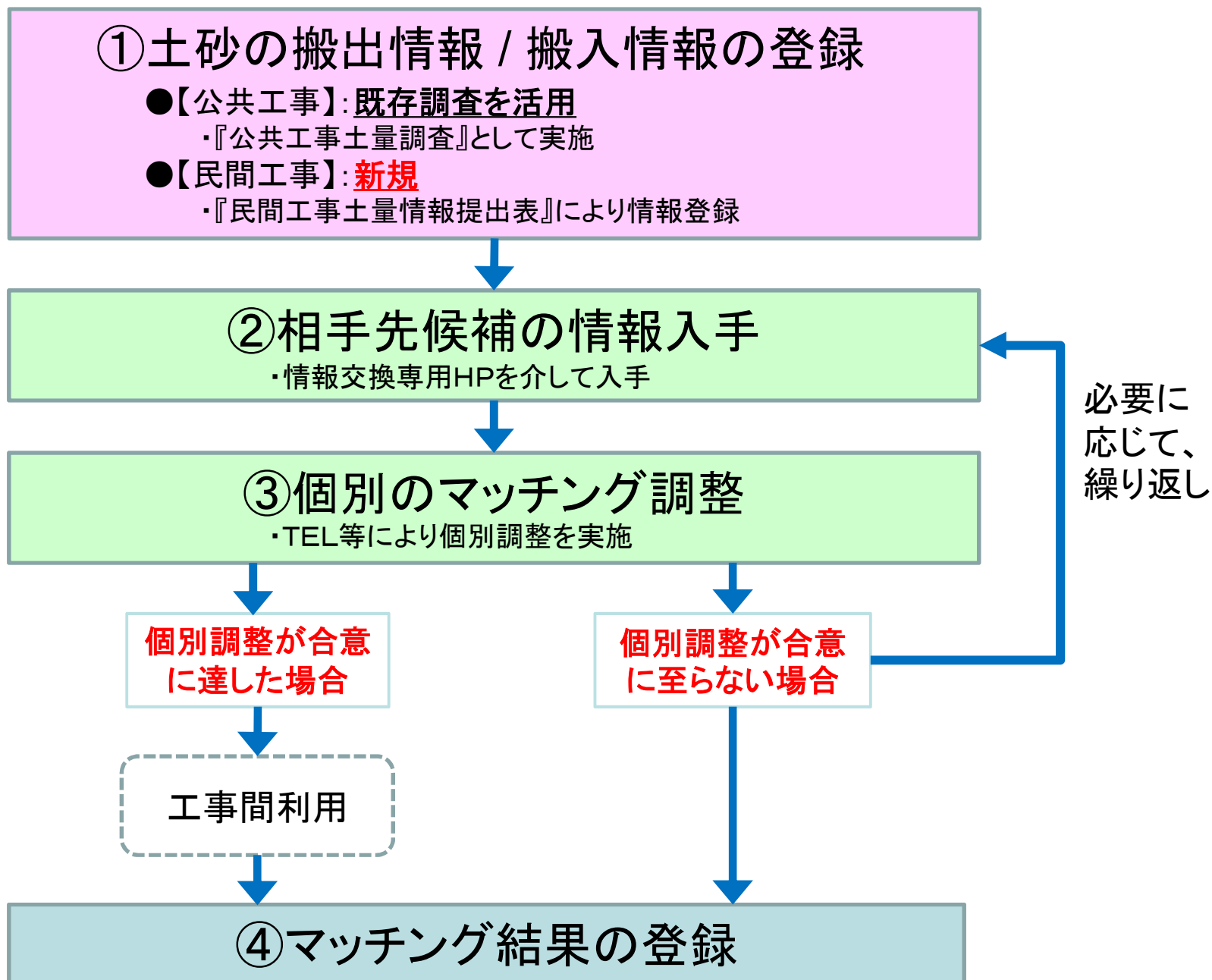
土が欲しい！



民間建設工事受注者
【搬入工事】

③マッチング調整

建設発生土マッチングにおける参加者の実施手順



【官民有効利用マッチング】

【これまでのマッチング】

- 公共工事及び民間公益工事（電力、ガス事業者等）

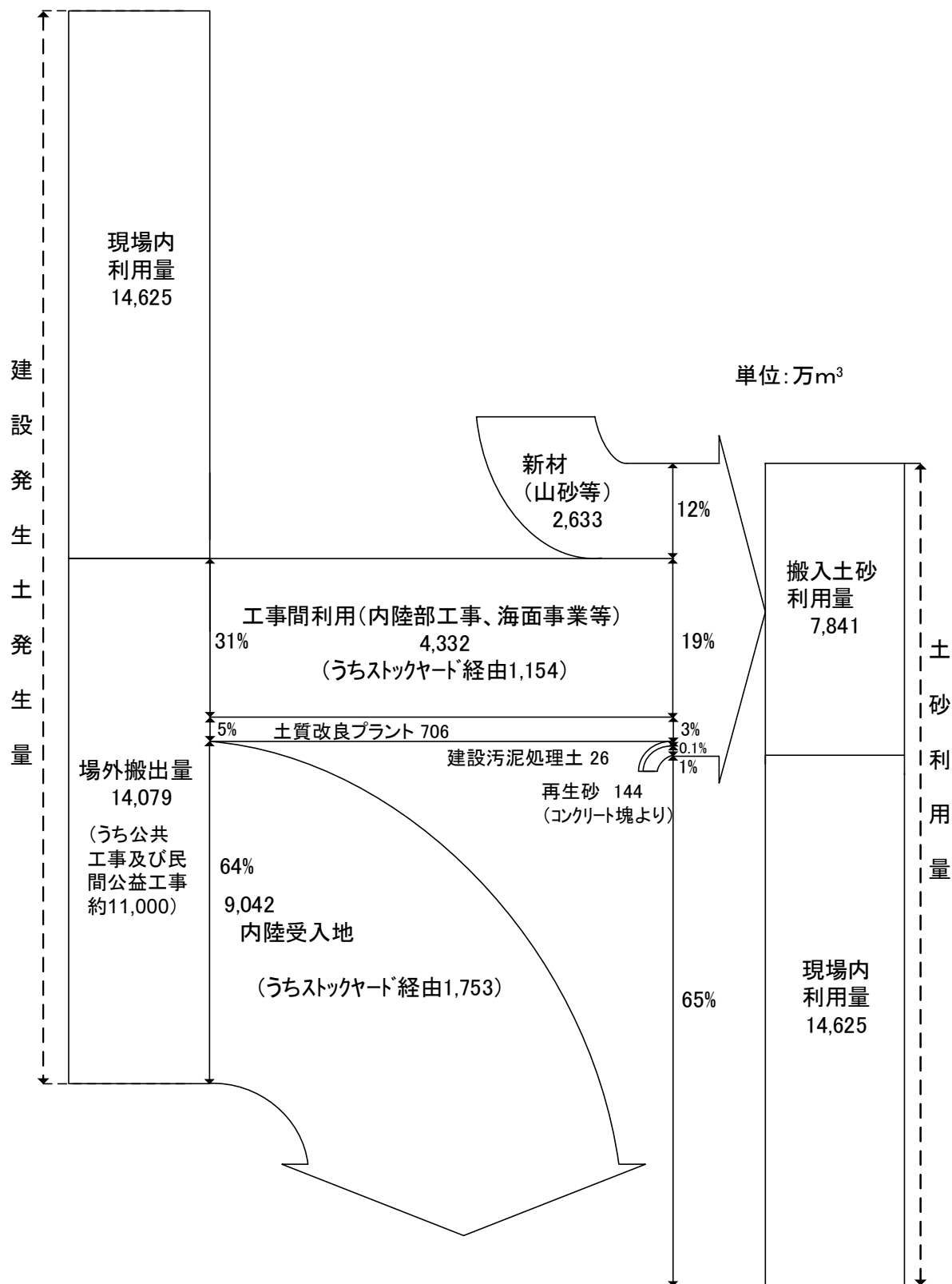
対象
拡大

- 民間工事（民間公益工事以外の民間発注工事）

 従来の情報交換の範囲（場外搬出量：11千万m³※）

 今回の情報交換の範囲（場外搬出量：14千万m³※）

※建設発生土の場外搬出量（平成24年度建設副産物実態調査より（国土交通省））



平成24年度建設副産物実態調査(国土交通省)